

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月24日

公表: 令和6年3月28日

事業所名 子ども発達研究所 NOBAサポ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	活動に応じて、広くスペースを確保する工夫をしております。	・スペースを目的に応じて区切ることで個人活動、又は集団活動について、取り組みやすくします。 ・安全に配慮しながら支援していくよう努めてまいります。 ・発達課題に応じて、法人内での適切な事業所移行が行われるよう努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	職員の勤務シフトを工夫し、密度の濃い支援を行うことができるようにしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	必要とする利用者にはエレベーター利用の案内をしております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		・業務点検リストを活用し、1か月単位で振り返りを実施して、業務改善に努めてまいります。 ・朝礼にて、情報の共有をしております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページにより適切に公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	ZOOM研修や対面による研修会へ参加しております。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	SM社会性能力チェックを用いて児童の支援課題を把握しております。個別支援計画作成の前に保護者の方と面談を行い、課題等をすり合わせるよう努めております。	個別の管理ノートを使用し、職員間の連携を図り、個々の特性を的確に把握し、個別支援計画作成に取り組んでまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	利用開始時にアセスメントシート、SM社会生活能力チェックを定期的実施しております。	教育機関との連携の際は学習に特化したツール、ISSPを適宜活用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	主たる活動であるコグトレにおいては、活動の立案者を中心として職員間で意見を出しながら立案を行っております。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	主たる活動であるコグトレにおいては、難易度を調整すること、利用者全員が参加することができる課題設定ができるように毎月、毎週見直しをしております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	コグトレ、ズレンガ、イベント等、課題を設定して行っております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	年間の活動予定を立案して、児童等の発達段階に応じた課題設定を行っております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝会にて打合せを実施し、通所児童の共有やコグトレなど支援の役割分担を確認しております。	連絡ノートや所内の連絡ツールを活用して、全職員に周知する仕組みを構築してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	翌日の朝会で前日の活動内容を共有する時間を設定しております。	朝会の中で、支援活動の留意点や、当初予定との変更点などを申し送りノートを作成し全職員に周知してまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	正しく簡潔で分かりやすい記録の入力に心がけております	個別の管理ノートを作成し、職員間での支援の共有を行ってまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的に保護者の方と面談を行い、個別支援計画の見直しを実施しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0	所内にガイドラインを掲出して閲覧できるようにしております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	担当者会議には、事業所責任者が出席できるようにしております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	事前の予定、送迎の確認及びトラブル時は所内の連絡ツールを用いて対応しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5		医療的ケアが必要な児童等が在籍した場合には、医療機関等と連携してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		法人が運営する児童発達支援サービスの事業所を中心に関係する保育所、幼稚園等と情報交換を密にして、相互理解を深めながら支援してまいります。
	関					

係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	定期開催の研修には外部有識者を招いて、助言を受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	学生ボランティアを活用し、ともに活動する機会を設けております。	イベントを通じて、地域の児童等と関わる機会を設けてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	HUGシステムや送迎時に、活動を含めた支援内容の報告を行っております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	面談や相談時等、都度受け入れられる体制にしております。	保護者会を定期に開催し、保護者の方の支援につなげてまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時、お問い合わせ時に丁寧な説明を心がけております。	契約内容、説明した事項等は、全職員に共有してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	HUG、送迎時等で受けた相談事項については所内で共有しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	年度2回の保護者交流イベントを開催いたしました。	保護者会を定期に開催するため、開催日時の選定の工夫や内容の改善を図るよう努めてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	事業所内で共有して対策し、保護者の方にその対応策について説明しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	定期的に公式LINEやイベント表を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	法人で実施している市のイベント等の地域貢献活動に参加をしております。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	所内に提示しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年度2回の法定消防訓練を適切に実施しております。	法定消防訓練(避難の部)を実施後は、HUGを通じて発信するよう努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	毎年虐待防止の研修及び月に1度「虐待防止ならびに身体拘束適正検討委員会」を開催しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーのある利用者は名簿等に記載し、全職員で情報を共有して慎重に対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	都度、共有しております。	用紙を作成し、日ごろから確認しやすい場所に掲示して、事故防止に努めてまいります。